

サケの稚魚放流

親子ら百村川に

【大田原】自然に親しみ、その大切さを学んでもらおうと、ミヤコタナゴの里環境保全会（関谷育男代表）は18日、地域の子どもたち

を招いて滝岡の百村川にサケの稚魚約8千匹を放流した。

毎年行っており、今回で6回目。地域に住む親子やJAなすの女性会滝岡支部など約50人が参加し、那珂川北部漁協が提供した稚魚

を川に放した。子どもたちは元気な声を上げて見送っていた。

稚魚はアラスカなどを回り約4年で遡上するという。幼稚園年長山崎広翔ちゃん（6）は「楽しかった。またここに戻ってきてほしい」と話していた。



サケの稚魚を放流する参加者